

今年も残り1か月となりました。日に日に寒さが増していますが、みなさま風邪などひいていませんか？年末に向けて忙しくなると思います。体調を崩さないように気を付けましょう。わんちゃん、猫ちゃんの体調管理も忘れずに！今回は、猫ちゃんの尿石症についてのお話です。

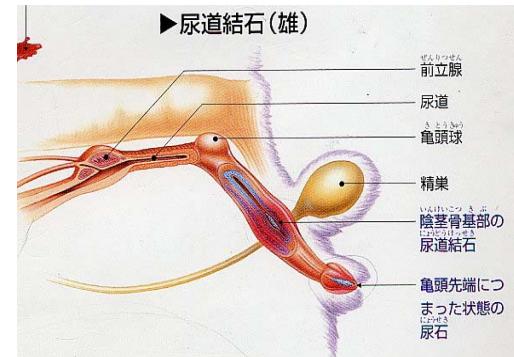


～尿石症とは？～

3歳から5歳ごろの若い猫においてよくみられる疾患であり、血尿や排尿などの臨床症状がみられるのが特徴。厳密にいうと、腎臓から尿管、膀胱、尿道にかけて尿石が形成された状態をさす。処置が遅れた場合、慢性の膀胱炎をくり返したり、雄猫の場合、尿道の閉塞を併発して腎機能が低下し、外科的な処置を行わないと腎不全により死に至ることもある。

原因

- ・食餌内容や飲水量
- ・尿路の細菌感染
- ・体質 …等と考えられているがどのようにして石が形成されるのかはまだ不明な点がある。



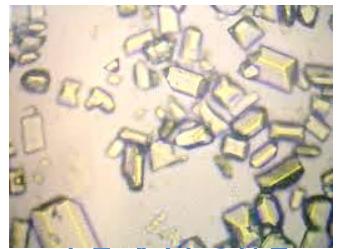
症状

※尿石ができる場所によって異なる。

痛いよ～！



- ・膀胱結石の場合…血尿・頻尿
- ・尿道結石の場合…血尿・頻尿・排尿困難のため排尿時に疼痛がみられる。膀胱には多量の尿が貯留し、腹部の膨満がみられる。閉塞してしまった場合、腎不全に陥り死亡することもある。
- ・腎結石の場合…血尿や細菌尿が長期にわたってみられる。



治療

- ・尿検査によって尿中に結石を形成する前段階の結晶をみる。
- 一般的にはリン酸アンモニウムマグネシウム(ストラバイト)を主成分とする尿石が最も多くみられる。他には、シュウ酸カルシウム、尿酸アンモニウムなどもある。
- ・治療食により、尿石を溶かす
- ・抗生物質の投与
- ・尿石が溶けたあとは、尿石ができるのを防ぐ維持食に切り替える

※他の食べ物は与えず、必ず決められた食餌と水だけを与えること

場合によっては命にかかる病気です。

血尿ではないか？何度もトイレに行ってないか？

きちんと尿は出ているか？排尿時に痛がっていないか？

トイレ以外で尿をするようになっていないか？

気を付けて観察しましょう！

早めに病院に
連れて行ってね



フィラリア予防、最後の月です

6月から毎月欠かさず投薬することはできましたか？

最後の1回まで、忘れずに！！



来年のカレンダーを配布しています

わんちゃん猫ちゃんのかわいい写真が載っているカレンダーです。

予約はできませんので、直接受付でお申し出ください。

お1人様1本となっております。なくなり次第、終了となります。

年末年始の診療について

12月30日 午前中診療 午後休診

12月31日～1月3日 休診

1月4日 通常通り診察(土曜日のため午後は17:30まで)



担当：池田